

第2回 SSH 講演会

昨年度まで行われていた土曜ALに代わり、今年度から SSH 講演会を行うことになり、第2回目を9月25日(水)に実施しました。生徒の主体的な学習を支援する取組ですが、今回は生徒の探究的な学びや進路選択の一助となるような5つの講演を企画しました。今号では、その様子や受講した生徒の感想を紹介します。

- ① 講演名：「世界に羽ばたく地域産業
：大学で地域の経済・産業を学ぶ」
講 師： 明治大学 奥山 雅之 様
- ② 講演名：「がんの本質に挑み
予防や治療に活かす」
講 師： 金沢大学 松永 司 様



講演①の様子



講演②の様子

- ③ 講演名：「『考え方』を学ぶ～光る分子の研究
と国際経験で得たもの」
講 師： 物質・材料研究機構 (NIMS)
平井 悠一 様



講演③の様子



講演④の様子

- ⑤ 講演名：「人間を支援するロボットシステム」
講 師： 前橋工科大学 李 沛讓 様
- ⑥ 講演名：「面接練習会」(キャリアメディカル)
内 容： 教員を交えた生徒同士による面接



講演⑤の様子



面接練習の様子

生徒の感想

- ・地方の起業にとっても興味があり、この講演に参加しましたが、地方の経済の仕組みについて詳しく学べたと思います。その事を将来の自分の夢につなげていきたいと思いました。
- ・課題の設定の仕方などそういったところを詳しく学べたので探究の時間などにかかしていきたい。
- ・今やっている生物基礎にも関連しているので、興味を持って勉強できると感じました。
- ・科学の甲子園に向けて化学を勉強していたこともあって、自分の学んでいることのその先も知れて勉強のモチベーションが上がった。留学の話なども聞いて、大学に入った後のことについて知ることができ大学生生活の解像度が上がった。
- ・先生の「マイノリティになる」という言葉に大変感銘を受け、勇気を持って活動を起こすことの大切さを学ぶことができた。
- ・スライドの作り方、見せ方がとても効果的で、受講内容が大変わかりやすかったです。
- ・何をどうしたいのか、自分の行く末を見据える勇気と実行力が自分の今後の人生を大きく変え、自分の本質を表現する唯一の方法だと知りました。今回の講座は今後自分がなにをするか、もう一度考え直すきっかけになりました。
- ・心理学は心のケアを行うだけでなく、認識や行動に着目したしっかりとした学問であることがわかった。
- ・さまざまな体験とともに心理学を学べたのは有意義なものだった。この講演を通して、人間の脳や心の面白さや奥深さを味わえた。
- ・理系・文系という目で見るとはなくて、自分の興味のある分野というところで将来を考えた方がいいかなと思った。
- ・様々なロボットを通して社会をよりよくしようとする先生の姿に多角的な視点や新しいことに挑戦することの大切さがわかりました。また、実際にロボットを体験してみて様々な可能性を感じたしどんな未来が来るのか非常にわくわくしました。
- ・緊張感のある面接練習だった。面接を実践的に行えていい経験になりました。